

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	32630	電話	042-769-8373
担当部課名	土木部	土木計画	課	下水道計画 班
事務事業名	下水道普及啓発費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第6節	下水道の整備と管理	63以前年度
施策名	第3施策	下水道普及啓発費	

2 実施根拠及び関連法令等

下水道法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
<p>公共下水道(汚水)については、平成12年度に市街化区域ほぼ全域の整備が完了した。今後は、建設から維持管理へと視点に移り下水道事業の経営状況についての市民に対する情報開示や、説明責任が求められて来ると考えられ、その意味でも啓発活動は引き続き実施する必要がある。</p>		<p>市民一般</p>	
		対象数	1,653人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
<p>下水道展 リサイクルフェア - の会場で、下水道に関するパネル等の展示、パンフレット花の種の配布、下水道クイズ・アンケートなどを実施した。(来場者数2日間約2,000人) 親子下水処理場見学会 市内ポンプ場及び茅ヶ崎市内の流域下水道処理場で、下水の処理される過程を学ぶ見学会を主催した。(参加者29人) 市の広報による啓発 9月1日号に9月10日「下水道の日」の説明、下水道のしくみ、使用上のルール、下水道使用料の使いみちなど下水道全般についての啓発記事 下水道作品コンクール 県下水道公社が主催するコンクールに参加した。(応募作品230点)</p>			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	なし		
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	下水道クイズ参加者数	下水道展における下水道クイズ参加者数(実施日H12～14は2日間、H15・16は1日)	啓発事業参加者数の指標として、下水道展における下水道クイズ参加者数が最も適当であるため。	476人	971人	1394人	800人	800人
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数	(0.2人)	(0.2人)	(0.2人)	(0.2人)	(0.2人)
	人件費	1,678	1,678	1,678	1,678	1,678
	その他経費					
	合計	2,065	1,872	1,906	1,888	1,888
特定財源						
	対象数	849	1,206	1,653	1,085	1,085
	対象の単位あたり経費	2.4	1.6	1.2	1.7	1.7

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	啓発事業であり参加する市民に、下水道事業を理解し、数多くの方に参加いただく事業の目標について、年々参加者も増加し、内容も分かり易いものと努力している。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	公共下水道(汚水)の面整備が12年度で完了し、建設から管理の時代に移行しつつある中、市民に対する啓発事業は益々重要となってきている。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	今後の下水道事業を進めていくうえで、啓発事業は必要不可欠と考えられる。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	啓発事業については、効果が把握しにくい点があるが、費用の額から見て妥当と思われる。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市民参加の事業であり、会場への来場、参加申し込みを行った方だけの事業である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 今後の進め方については、現状の事業について工夫を凝らし、コストがかからない方法を考えながら進めていきたい。	手段	内容を精査し事業費の削減を図る。
		削減額	34 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	啓発事業については、成果の把握が難しく評価もある程度主観的にならざるを得ない。予算についても減額しており、新しい事業に取り組むのは困難な面があり、多少の課題はあるが、見直しが必要なほどではない。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--